

10月19日

テーマ：「最後の晩餐」

聖書箇所：マタイ26章26～29節

◆今日のみことば

これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流されるものです。

マタイ26章28節

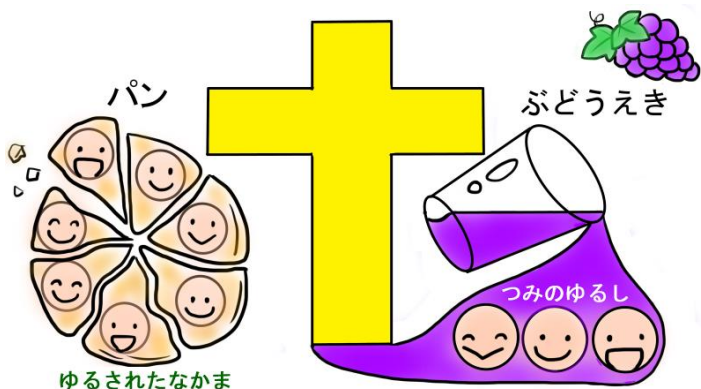
◆メッセージ

十字架を控えたイエスさまが弟子たちと最後の過越の食事をしている場面です。イエスさまが、人の救いのために十字架におかかりになることを伝えてい



ているところです。教会の礼拝で、聖餐式が行われていることを知っていますか。この場面は、聖餐式の起源となっているところです。ここにおいて、イエスさまはパンとぶどう酒によって、ご自分が受ける十字架について話されています。

26節、イエスさまは、まずパンを祝福して、神さまのすばらしさを表すものとして取り分け、裂き、弟子たちに与えて「取って食べなさい。これはわたしのからだです。」とされています。神に背いて以来、罪と死に支配されている人々の身代わりとしてご自分が十字架刑を受けると言われているのです。



27節～28節、続いて、イエスさまは杯をとり、神さまの愛に感謝し、「みな、この杯から飲みなさい。これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流されるためです。」と言って、彼らに渡されました。ここで特に、契約の血と言っているのは、神の御子であるご自身が血を流すことによって、罪の赦

しが完全に与えられる新しい契約が実現することを言っておられるのです。

29節、最後に、イエスさまは、神が御心を成し遂げてすべてを新しくする終わりの時まで、もはや過越の犠牲は必要ない、罪のための過越は御子の十字架によって完成すると言われます。ご自分が人の罪のために十字架にかかり、死ぬことを弟子たちに明らかにし、罪の赦しが成就することを伝えてい

ています。教会は、聖餐式のたびに、このイエスさまの救いの恵みを思い起こし、感謝とともに信仰を思い起こしています。

◆お祈り

「父なる神さま。イエスさまが私たちを罪より救うために十字架の死まで受けてくださったことを感謝します。どんな時でも、新しくされた神の子どもとして生きる者とさせてください。イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。」

(金沢中央教会牧師 川口昌英)